

令和 2 年度 EMIS 訓練結果について

1 目的

災害が発生した場合に、迅速かつ正確な情報連絡体制の確立を図るため。

なお、近年、大規模な台風被害が多発していることから、風水害を想定した訓練も実施する。

2 訓練期間

(第 1 回) 風水害編 令和 2 年 9 月 24 日 (木) から 10 月 1 日 (木) まで

(第 2 回) 大地震編 令和 2 年 12 月 4 日 (金) から 12 月 11 日 (金) まで

3 実施手順

- (1) 事前に報告様式の作成
- (2) 期間中の EMIS 入力
- (3) 報告書の FAX 送信

4 対象医療機関

医療機関名		医療機関名	
1	順天堂練馬病院	12	関町病院
2	練馬光が丘病院	13	東京聖徳病院
3	練馬総合病院	14	慈雲堂病院
4	浩生会スズキ病院	15	陽和病院
5	大泉生協病院	16	練馬駅リハビリテーション病院
6	川満外科	17	ねりま健育会病院
7	田中脳神経外科病院	18	大泉病院
8	久保田産婦人科病院	19	東海病院
9	島村記念病院	20	桜台病院
10	保谷医院	21	高松医院
11	東大泉病院		

5 被害想定

(1) 風水害編

台風第 12 号の接近・通過に伴い、広い範囲で大雨、暴風、高波、高潮となっています。大雨については、9 月 24 日 10 時 30 分から順次、東京都など 1 都 12 県で大雨特別警報を發表され、最大級の警戒を呼びかけられているところです。練馬区では、11 時 00 分に石神井川の稲荷橋水位観測所(練馬区石神井台)、白子川の越後山橋水位観測所(練馬区土支田)

で氾濫危険水位に到達しました。東京都の他の地域においては、多摩川と荒川が氾濫し、周辺地域で浸水害が発生しています。

風については、練馬区で最大瞬間風速 30 メートルを記録しています。また、台風の接近に伴って大気の状態が非常に不安定となり、関東地方各所では、竜巻と推定される突風が発生しています。

これらの影響で、人的被害や住家被害、電気・水道・道路・鉄道施設等のライフラインへの被害が発生し、航空機や鉄道の運休等の交通障害が発生しています。

(2) 大地震編

本日、午前 9 時 00 分頃、関東地方で強い揺れを感じました。気象庁発表による地震の規模はマグニチュード 8.2、震度は都内では最大震度 7（品川区、大田区、町田市の一部）、練馬区内でも震度 6 強から 6 弱を観測しています。東京都および練馬区では災害対策本部を設置して情報収集を行っており、首都圏の広い範囲において、建物の倒壊や火災、道路での多重衝突事故、鉄道の転覆事故などにより、多数の死傷者が発生しています。現在、警察・消防・自衛隊が救出救助活動を展開していますが、災害拠点病院には、これから多くの傷病者が殺到することが予想されます。

6 訓練結果

(1) (第 1 回) 入力状況 19 医療機関 / 21 医療機関が入力

(第 2 回) 入力状況 14 医療機関 / 21 医療機関が入力

(2) 主な意見

- 実際に万が一のとき、落ち着いて入力できるか不安だが、このような訓練を重ねて、スムーズに入力できるよう何度もトレーニングしていきたい。
- EMIS 訓練で初めて風水害という具体的な被害想定をもとに行った防災通信訓練だった。昨今の異常気象で起こりうる被害想定だったので、考えさせられる訓練だった。
- 入力は回数を重ね慣れてきた。
- 区の防災無線を活用した発災想定にするとより実践的になると思う。
- 風水害想定だったので、ハザードマップの活用意識が高まった。
- EMIS 入力の目的や効果の意識が高まった。
- (病院内で訓練を実施) 限られた人だけが入力できるということがないように、今後も多くの職員に訓練に参加させたいと思った。
- これまで、EMIS 入力訓練で台風接近、通過による水害暴風を想定した訓練を実施したことがなかったので、病院施設の被害をイメージする契機となった。台風による人的被害、インフラ被害まで想定したマニュアルを早急に更新、必要なものを新たに作成していきたい。
- EMIS 入力期間中に、2～3 回追加の入力依頼があると経時的な情報管理ができる。